

施工説明書

LAMP®

FD30SP 上吊式引戸

上ローラー木口掘込仕様

品番：FD30SPHHP

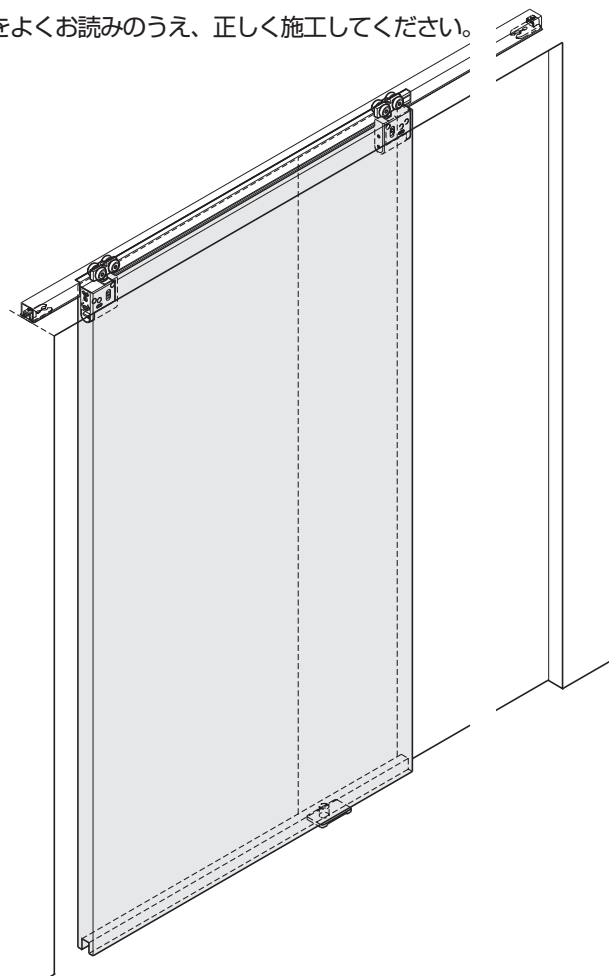
このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 屋内用の上吊式引戸金物です。
- 工具を使わずに扉を吊り込むことができます。

仕 様

扉高さ	2400 mm 以下
扉幅	1000 mm 以下
扉厚	24 mm 以上
扉質量 (1 枚当り)	30 kg 以下
扉上下調整範囲	± 3 mm
扉前後調整範囲	± 2 mm



正しく安全に施工していただくために

⚠ 警告・注意 🚫 禁止 ! 厳守

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。



- 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをすることがあります。
- 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉が脱落してけがをすることがあります。



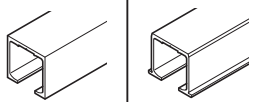
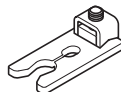
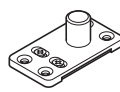
- 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。


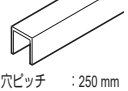
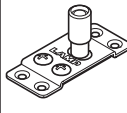

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。



- 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから 1 ヶ月後と 6 ヶ月後、その後は 1 年ごとを目安にしてください）。

部品一覧

No.	①		②	③	④
品名	レール (面付用)	レール (掘込用)	上ローラー (掘込用)	上キャッチ	下ガイド (ローラー付)
品番	FD30-TRM 型	FD30-TRH 型	FD30SP-WRH	FD30-HTST 型	FD30-HBG 型
部品	 910 mm ~ 4000 mm 穴ピッチ: 300 mm ピッチエンド: 30 mm 推奨ねじ: 十字穴付皿タップピンねじ 3.5×20		 付属: 十字穴付なべ タップピンねじ 3.5×30 3本		 付属: 十字穴付皿 タップピンねじ 3.5×30 4本
片引き戸	面付用か掘込用を選択 1本		2ヶ	2ヶ	1ヶ
引き違い戸	面付用か掘込用を選択 2本		4ヶ	4ヶ	2ヶ
引き分けの場合	面付用か掘込用を選択 1本		4ヶ	4ヶ	2ヶ

オプション	No.	⑤	⑥	⑦	⑧
	品名	上ローラー用 化粧キャップ	扉下側埋込み ガイドレール	下ガイドローラー付 (軸長タイプ)	
	品番	FDSP-WRH-CP 型	FD30-HBRT 型	FD30-HBGH	
部品		 1000 mm ~ 1500 mm 穴ピッチ : 250 mm ピッチエンド: 30 mm 推奨ねじ: 十字穴付皿タップピンねじ 4×20	 付属: 十字穴付皿タップ ピンねじ(ステンレス鋼) 3.5×30 4本	 付属品 スパナ FDSP-SP	

寸法図

※1 クロス等を巻き込む場合、別途寸法を加味してください。

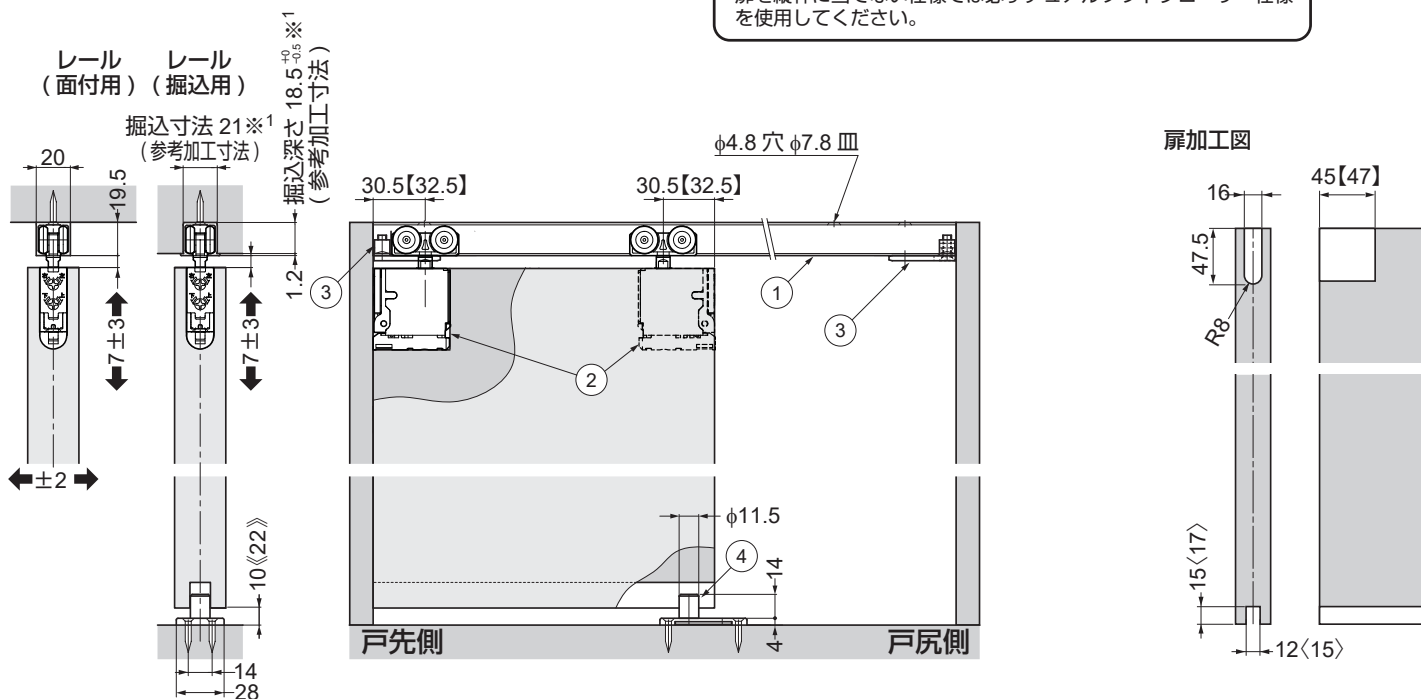
【 】は上ローラー用化粧キャップ⑤を付けた場合の寸法です。

〈 〉は扉下埋込ガイドレール⑥を付けた場合の寸法です。

《 》は下ガイドローラー付(軸長タイプ)⑦を付けた場合の寸法です。

注意

扉を縦枠に当たらない仕様では必ずデュアルソフトクローザー仕様を使用してください。

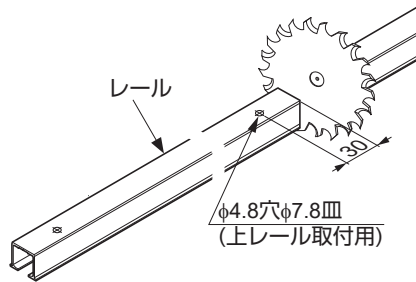


取付手順

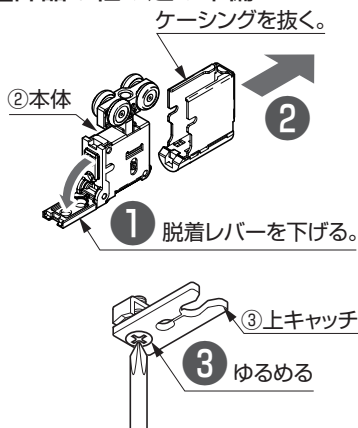
本書は、片引きの取付手順について説明しています。

1 レールの切断

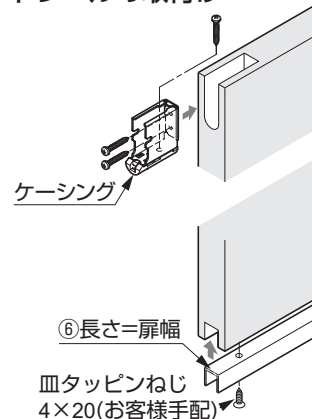
間口に合わせ、必要な長さに切断してください。
 △レールの切断部が変形しないように補強材などを入れて切断してください。



2 部品の組み込み準備

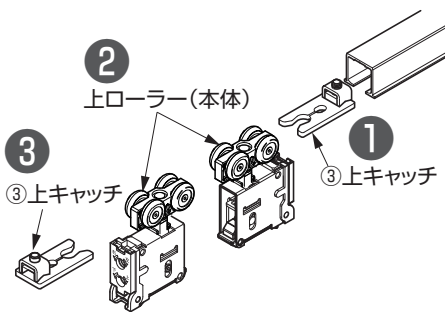


3 ケーシングおよび扉下側埋込みガイドレールの取付け



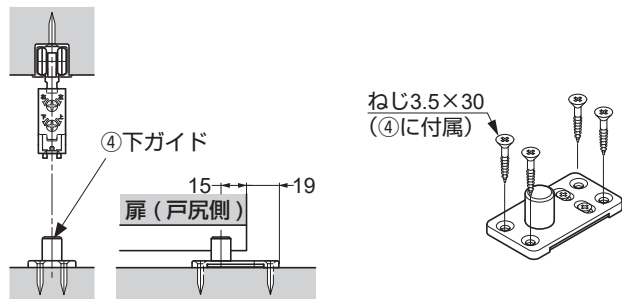
4 部品の組み込み

各部品の向きに注意し、①～③の順番で組み込む。



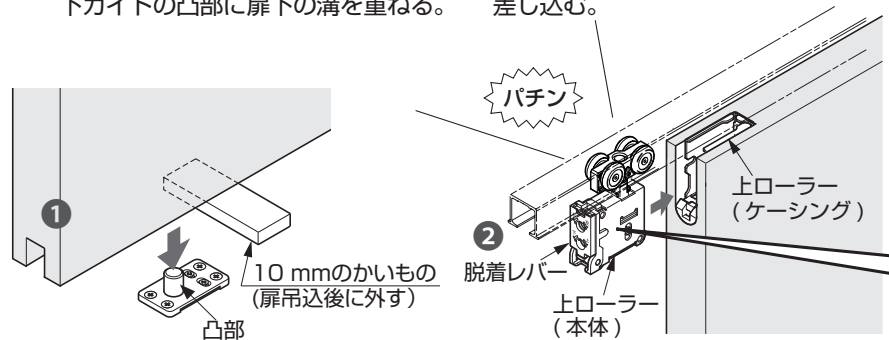
5 下ガイドの取り付け

上レール中心の真下、かつ下ガイドの凸部が扉から外れない位置に取り付ける。

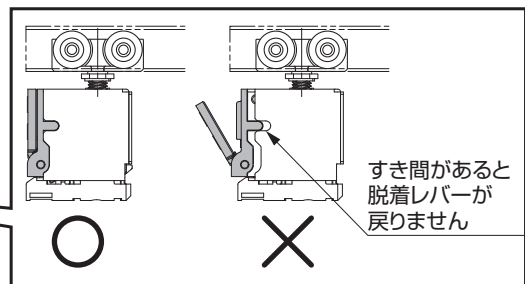


6 扉の吊り込み

①扉の下に10 mmのかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。
 ②上ローラーを、クリック音がするまで差し込む。



注意
 上ローラー（本体）がケーシングから外れないか確認してください（戸先、戸尻両面）

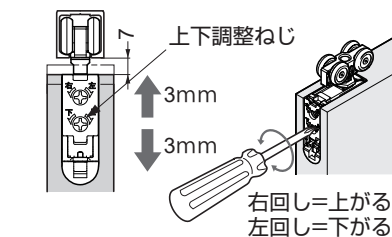


7 扉の位置調整

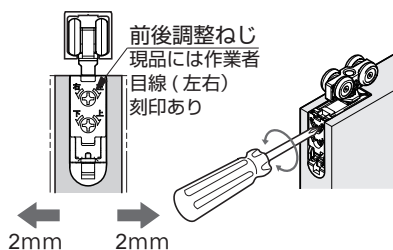
扉が上レールと平行で、床面とのすき間が7～13 mmになるように調整してください。

注意
 調整ねじを調整範囲以上に回さないでください。調整ねじを電動ドライバーで回さないでください。破損の原因になります。

扉の上下調整 6 mm

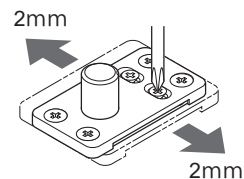


扉の前後調整 4 mm



8 下ガイドの調整

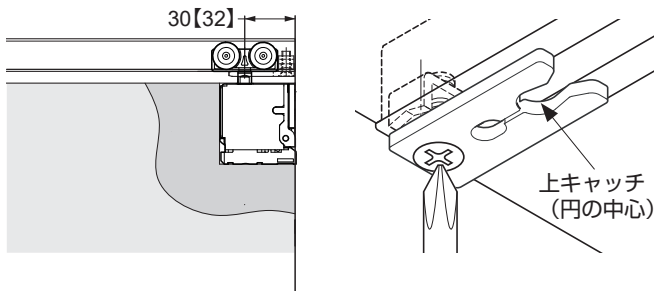
調整範囲：4 mm



7 上キャッチの位置固定

上キャッチを枠から上キャッチの円の中心
まで 30(32) mm の位置に固定し扉をゆっくり
動かして閉めてください。
必要に応じて、上キャッチの位置を調整してください。

【 】寸法は上ローラー用化粧
キャップ⑤を付けた場合

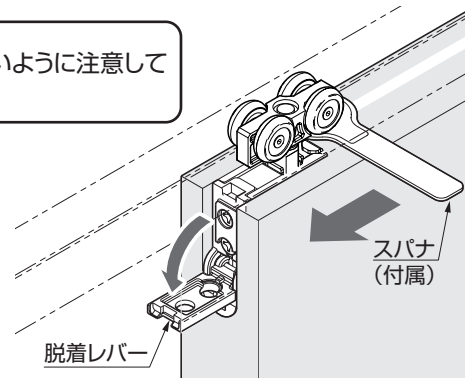


補足 1 扉の外し方

- ・扉の下に 10 mm のかいものをはさむ。
- ・上ローラー（本体）の脱着レバーを下げたまま、上ローラー（本体）をケーシングから引き抜く。
- ・付属のスパナなどでローラーの吊り軸を矢印方向に押しと外れやすい。

⚠ 注意

❗ 扉を倒さないように注意してください。



取り付け後の確認 ねじの締め忘れ、取り付け忘れのないことを確認してください。

定期点検

- ・レール内の掃除をおこなってください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をおこなってください。

困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉の開閉時に異音が発生する	扉が隣接する箇所と摺っていませんか。	扉が隣接するものと摺らないように扉の前後調整をしてください。
	上レール内にゴミやアルミの切粉が付いていませんか。	ゴミやアルミの切粉を取り除いてください。
	上レール部のローラーにゴミやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	一旦レールを外し、ローラーを引き抜いてゴミや切粉を取り除いてください。
扉の開閉が重い	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
	床面に扉下面が摺っていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をしていただき、床面と扉下面との隙間が 7 ~ 13 mm になるように調整してください。
扉が隣接する箇所と摺っていませんか。	扉が隣接するものと摺らないように扉の前後調整、または下ガイド、上キャッチの位置調整をしてください。	
扉が開閉しない	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
勝手に扉が開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてあります。	水平器を利用して水平になるように、上レールを付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※ 弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2024.07 1633-1j